

令和7年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「詳説世界史」 (山川出版社)						
副教材等	アカデミア世界史 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・歴史という時間軸を感じられるようになる。
- ・資料から歴史に関する様々な情報を適切に効果的に調べ、まとめられるようにしよう。
- ・「なぜ」という視点を生かし、歴史的事象を多面的・多角的に考えられるようにしよう。
- ・歴史総合で得られた「歴史の学び方」を生かし世界史の諸事象を探究できるようになる。
- ・世界諸地域における古代の特徴をつかもう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

世界の歴史的な事象に関して、日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料をもとに様々な情報を適切に調べまとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に着目し、広い視野に立ち、それぞれの課題を追究したり解決したりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	世界史へのまなざし①	地球環境からみる 人類の歴史 ～自然環境と 人類の変化～	a: 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 b: 長期にわたる地球気温の変化を示す統計資料などをもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。 c: 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	確認テスト 定期考査	ワークシート レポート 定期考査	レポート
	世界史へのまなざし②	日常生活からみる 世界の歴史 ～砂糖とコーヒーから みる世界の歴史～ ～余暇からみえる 世界の歴史～ ～歴史のなかの家族～	a: 今日の社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解している。 b: 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界をつながりをつなを多面的・多角的に考察し表現している。 c: 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	確認テスト 定期考査	ワークシート レポート 定期考査	レポート

	<p>文明の成立と古代文明の特質</p>	<p>1.文明の誕生 2.古代オリエント文明とその周辺 3.南アジアの古代文明 4.南北アメリカ文明</p>	<p>a: 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 b: 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c: 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>確認テスト 定期考査</p>	<p>ワークシート レポート 定期考査</p>	<p>レポート</p>
	<p>中央ユーラシアと東アジア世界</p>	<p>1.中央ユーラシア—草原とオアシスの世界 2.秦・漢帝国 3.中国の動乱と変容 4.東アジア文化圏の形成</p>	<p>a: 中国古代王朝の成り立ちや特徴・遊牧民との関係性について理解している。 b: 各史資料を基に、中央ユーラシアの動向が世界に与えた影響、古代中国諸王朝の成り立ちや特徴について多面的・多角的に考察・表現できる c: 中央ユーラシアの動向・古代中国諸王朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>確認テスト 定期考査</p>	<p>ワークシート レポート 定期考査</p>	<p>レポート</p>

2 学期	南アジア世界と東南アジア世界の展開	<p>1. 仏教の成立と南アジアの統一国家</p> <p>2. インド古典文化とヒンドゥー教の定着</p> <p>3. 東南アジア世界の形成と展開</p>	<p>a: 南アジアで生まれた諸宗教が諸地域に与えた影響、南インド社会の特徴、東南アジアにおける諸国家の形成について理解している。</p> <p>b: 諸資料や風土・地形を踏まえたうえで、南アジアで生まれた諸宗教が諸地域に与えた影響、インド古代社会の特徴、東南アジアにおける諸国家の形成について多面的・多角的に考察・表現できている。</p> <p>c: 南アジア諸宗教・諸国家の成り立ちや特徴・東南アジアの諸国家について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	確認テスト 定期考査	ワークシート レポート 定期考査	レポート
	西アジアと地中海周辺の国家形成	<p>1. イラン諸国家の興亡とイラン文明</p> <p>2. ギリシア人の都市国家</p> <p>3. ローマと地中海支配</p> <p>4. キリスト教の成立と発展</p>	<p>a: イラン諸国家の興亡、古代ギリシアにおける民主政の特徴、ローマ帝国の成り立ち・領土拡大について理解している。</p> <p>b: 諸資料をもとにイラン諸国家の興亡、古代ギリシアにおける民主政の特徴、ローマ帝国の成り立ち・領土拡大について多面的・多角的に考察・表現できている。</p> <p>c: イラン諸国家の興亡、古代ギリシアにおける民主政の特徴、ローマ帝国の成り立ち・領土拡大について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	確認テスト 定期考査	ワークシート レポート 定期考査	レポート

	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	1.アラブの大征服と イスラーム政権の成立 2.ヨーロッパ世界の形成	a: イスラーム世界の成り立ち・ 拡大、西ヨーロッパと東ヨーロ ッパがどのようにして独自の世 界を形成したかを理解してい る。 b: 諸資料をもとにイスラーム教 が世界に与えた影響や、西ヨー ロッパに特徴的な封建制につい て多面的・多角的に考察・表現 できている。 c: イスラーム教が世界に与えた 影響、東西ヨーロッパ世界の成り 立ちについて自分が抱いた興味・ 関心や疑問、追究してみたいこ となどを見出して、見通しを持って 学習に取り組もうとしている。	確認テスト 定期考査	ワーク シート レポート 定期考査	レポート
3 学期	イスラーム教の伝播と西アジアの動向	1.イスラーム教の 諸地域への伝播 2.西アジアの動向	a: 中央アジア・南アジア・東南 アジア・アフリカのイスラーム 化、アッバース朝衰退後の西ア ジア社会について理解してい る。 b: 諸資料をもとに中央アジア・ 南アジア・東南アジア・アフリ カのイスラーム化、アッバース 朝衰退後の西アジア社会につい て多面的・多角的に考察・表現 できている。 c: 中央アジア・南アジア・東南 アジア・アフリカのイスラーム 化、アッバース朝衰退後の西アジ ア社会について自分が抱いた興 味・関心や疑問、追究してみたい ことなどを見出して、見通しを持 って学習に取り組もうとしている。	確認テスト 定期考査	ワーク シート レポート 定期考査	レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度